

(社)精密工学会主催 第295回講習会

「第10回最先端の研究室めぐり」

見学先:財団法人鉄道総合技術研究所(東京都国分寺市)
—超伝導リニア(JR Maglev)の実用化技術開発の現状—

開催期日:平成15年12月5日(金)

申込締切:平成15年11月21日(金)

主催:社団法人精密工学会

企画:事業部会企画第3グループ

協賛:応用物理学会, 計測自動制御学会, システム制御情報学会, 情報処理学会, 人工知能学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 日本オプトメカトロニクス協会, 日本機械学会, 日本自動認識システム協会, 日本バーチャルリアリティ学会, 日本ロボット学会, ヒューマンインタフェース学会

財団法人鉄道総合技術研究所は、日本国有鉄道の分割・民営化に先立ち、1986(S61)年12月10日に運輸大臣(現国土交通大臣)の許可を得て発足し、1987(S62)年4月1日に、JR各社の発足と同時に、国鉄が行っていた研究開発を継承する法人として本格的な事業活動を開始しました。車両、土木、電気、情報、材料、環境、人間科学など鉄道技術に関する基礎から応用までのあらゆる分野を対象に、たゆまぬ技術革新へチャレンジしています。(web pageより)

今回は「超伝導リニア(JR Maglev)の実用化技術開発の現状」のご講演と見学を予定しています。多数の方々のご参加をお待ちしております。

日 時 平成15年12月5日(金) 13時00分～16時30分

会 場 鉄道総合技術研究所 国立研究所 (東京都国分寺市光町 2-8-38 TEL 042-573-7212)

コーディネータ 高信英明(工学院大学), 石田 徹(大阪大学)

内 容 右記の施設見学と講演を予定しています。

(見学内容に関しては都合により当日急遽変更となる場合もございますが、ご容赦願います)

集合・解散 現地集合、現地解散です。

下記アドレスの地図をご参照の上、13:00までに直接お越しください。

(地図: http://www.rtri.or.jp/rtri/kunitachi_J.html)

JR国立駅北口から徒歩6～7分

定 員 25名(先着順で定員になり次第締切ります)

参 加 費 会員 2,000円, 非会員 3,000円

学生会員 無料

(本参加費は、本見学会実施にあたっての精密工学会の諸経費に充当されます)

申込締切 平成15年11月21日(金)

申込方法 申込用紙に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXにて受け付けます。

時間	内容
13:00～13:05	ご挨拶
13:05～14:05	講演 「超伝導リニア(JR Maglev)の実用化技術開発の現状」 鉄道総合技術研究所 浮上式鉄道開発本部 技師長 高橋 潔 山梨リニア実験線では1997年春の試験開始以来6年半にわたる走行試験を積み重ねている。この間、大量輸送システムとしての実用化に向けた技術評価を既に終了し、現在は連続走行による信頼性・耐久性の検証とコスト低減技術の開発に重点的に取り組んでいる。
14:05～14:15	質疑応答
14:15～14:30	休憩
14:30～16:30	見学(マイクロバスで移動)
16:30	閉会

申 込 先 社団法人 精密工学会

(〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-5-9 九段誠和ビル 2F, 電話 03-5226-5191, FAX 03-5226-5192)

(学会ホームページ <http://www.jspe.or.jp> から申し込み出来ます。)

そ の 他 鉄道総研ホームページ <http://www.rtri.or.jp> をご参照下さい。